

岡山市の「世界首長誓約／日本」への取組について



【署名式】 ○令和2年7月29日
「世界首長誓約／日本」事務局 竹内事務局長様・杉山様にお越しいただき、署名式を実施。国内24番目の自治体として登録。

○大森岡山市長が次の内容に取り組むことを誓約した。

1. 持続可能なエネルギー（エネルギーの地産地消など）の推進
2. 2030年の温室効果ガス排出量は国の削減目標以上の削減
3. 気候変動の影響などに適応し、レジリエント（強靱）な地域づくり

岡山市の「世界首長誓約／日本」への取組について

誓約に至った経緯

【現状】

地球温暖化による気候変動の影響が顕在化し、

○台風の大型化や豪雨の頻発による、大規模災害の発生

○猛暑日の増加による、健康被害が増加

【課題】

○影響を抑制するための迅速な対策が必要

○市と市民が協働して対策を行うことが必要

【目的】

- ・市自ら取組を進める
- ・市が温暖化防止の必要性を、広く伝える



○市民・事業者の行動変容や取組を促進

【市の取組】

(市長の思い)

持続可能な社会を目指すSDGsの目標実現に向けて、積極的に取り組んでいく姿勢を示すとともに、具体的な取り組みを進めたい。



○「世界首長誓約／日本」に取り組むことを決定

(背景)

- ・晴れの日が多い岡山市の地域特性から、太陽光発電設備の設置を進めている。
- ・岡山市地球温暖化対策実行計画において、温室効果ガスの削減目標を、国と同様の2030年度に2013年度比26%削減としている。
- ・令和2年度に見直しを行っている、実行計画に地域気候変動適応計画を盛り込む予定。
- ・市の温暖化対策の取組結果については、毎年岡山市環境白書やHP等で公表している。

岡山市の「世界首長誓約／日本」への取組について

【今後のスケジュール】

○ 「気候エネルギー行動計画」の策定

今年度見直しを行っている「岡山市地球温暖化対策実行計画」に適応に関する計画など、必要事項を追加し、行動計画として認定を受ける予定。

（現在の実行計画の概要）

- ・ 温室効果ガス削減目標 2030年度 26%削減（2013年度比）
- ・ 省エネルギー型ライフスタイルへの転換
- ・ 再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギー設備の導入促進
- ・ 低炭素な交通施策（公共交通利用促進・自転車利用）

○ 行動計画の実施状況を報告（計画策定時、策定後2年ごと）

【新たな取組】

- エネルギーの地産地消
市のごみ焼却施設で発電した余剰電力について、市有施設での有効活用を検討。
- バイオマス発電事業
食品廃棄物からメタン発酵を行い、生成したメタンガスを使って発電事業を行う。
- 道路照明灯LED化事業
- 他の誓約自治体様と温暖化対策の「緩和策」、「適応策」についての情報共有を行いたい。